



上石小だより

～ やさしさ かしこさ たくましさ ～

第 5 号
令和元年 9 月 2 日
練馬区立上石神井小学校
校長 井口 洋

やる気を育む「ペップトーク」

校長 井口 洋

夏休みが終わり、元気な子供たちが約40日ぶりに学校に戻ってきました。水泳教室は、夏休み当初の冷夏や8月末の雨で中止があり予定よりも少ない日数でした。猛暑日にはプールといえども熱中症予防のため、水分補給や日陰での待機、シャワーを浴びて体温を下げる等の対応をしたため事故なく実施することが出来ました。また、学校行事の他に、夏休み中は学校生活を離れ保護者の皆様や地域の皆様に支えられて、様々な経験をして、大きく成長した姿を見てうれしく思います。

2学期は、日々の授業はもちろんのこと、6年生の連合水泳記録会や運動会、展覧会などの学校行事や地域等の行事等がたくさんあります。子供たちには、自分の目標をしっかりと定めて、日頃の学習や練習を、友達と一緒にしっかりと行い、当日は、絶対に諦めず、自分の力、自分たちの力を、全力で発揮して欲しいと願っています。このような児童の頑張りを助けたり、成長を促したりする場面において大切なことの一つに「声掛け」があります。そこで今回はペップトークを御紹介したいと思います。

ペップトークとは、スポーツ選手を励ますために指導者やリーダーが競技前に選手にやる気を起こさせる、激励のメッセージや訓話のことをいいます。例えば、野球の試合があるとします。次の対戦相手は、地域でも評判の強豪チームです。今まで、そのチームに勝ったことがありません。そこで指導者やリーダーが「相手はすごく強いから、負けても仕方がない。なるべく点差をつけられないように頑張ろう。」と声掛けすると「強豪チームと試合ができてなんてラッキーなことだ。自分たちのもてる力を全て出して試合をしよう。」と声を掛けるのでは、選手たちの気持ちも変わってきます。前者は「どうせ負けるのだろうな。」と弱気になり、後者は「実力を発揮できるチャンスだ。」と前向きな思考になれるはずです。やる気を起こさせる激励の言葉、これがペップトークです。

ペップトークは、スポーツに限らず、御家庭で御子様を励ますときにも応用できます。「～するな」ではなく、「～しよう」という肯定的な言葉を使うようにすれば、言われている方の気持ちも随分と違ってきます。例えば、「忘れ物をしないでね。」ではなく「明日の準備をしっかりとしようね。」のように肯定の言葉で励ますことが大切です。運動会の準備の時期になります。練習で疲れている時や、当日の朝は「しっかりとしなさいよ!」「失敗しないでね!」ではなく、「一番素敵な笑顔で取り組んでね!」「輝いている姿が見たいな!」等の励ましの声掛けをお願いします。

9月行事予定

- 2 (月) 始業式 給食始【1～4年 4時間授業】
委員会(5,6年 5校時) 登下校指導
- 3 (火) 発育測定(6年) 登下校指導
- 4 (水) 発育測定(1,5年) 登校指導
- 5 (木) 連合水泳記録会(6年 5,6校時)
発育測定(4年)
- 6 (金) 連合水泳記録会(予備日)
発育測定(3年) 水泳指導終
- 9 (月) 【運動会特別時間割始】
運動会係活動(5,6年 6校時)
【6時間授業(5,6年)】 発育測定(2年)
- 10 (火) 保護者会(1,2年)
- 11 (水) 保護者会(5,6年)
- 12 (木) 保護者会(3,4年) (5時間授業 3・4年)

- 14 (土) 学校公開【水曜時間割 4時間】
区一斉防災訓練
(場所:校庭/雨天等の際は教室)
- 18 (水) 全体練習【4時間授業 1～4年生】
運動会係活動(5,6年 5校時)
- 20 (金) 全体練習 給食費引き落とし
- 24 (火) 委員会(5,6年 6校時)10月分
- 25 (水) 全体練習
- 27 (金) 運動会前日準備(1～5年 午前授業)
運動会係活動(6年のみ 5校時)
- 28 (土) 運動会(雨天時 授業なし 休み)
- 28 (日) 運動会予備日
- 30 (月) 振替休業日

10月行事予定

- 1 (火) 都民の日

4年社会科見学 「中央防波堤・水の科学館・浅草」

7月5日(金)、社会科見学に行ってきました。中央防波堤では、粗大ごみを細かく砕く施設や、広大な埋め立て地を見学したり、環境についての学習をしたりして、たくさんの驚きや発見がありました。水の科学館では、水について体験を通して理解を深めました。浅草へは水上バスに乗って行き、仲見世通りや浅草寺を見ってきました。社会科見学の子供たちの感想を紹介します。

《子供たちの感想から》

- ごみのことは気にかけていなかったけれど、わたしたちが出すごみを一生懸命処理してくれていることが分かりました。3Rというごみを減らす運動もがんばりたいです。
- わたしは、埋め立て地があと50年で使えなくなることを初めて知りました。少しでも長く使えるように、ごみの出し方を工夫したいと思います。
- 水の科学館で大きなシャボン玉の中に入ったのが、楽しかったです。お弁当もおいしかったです。
- 船に初めて乗りました。水上バスに乗って、橋の下を通ったのが楽しかったです。浅草に近づくと、スカイツリーが大きく見えました。
- 浅草の雷門や浅草寺が楽しかったです。仲見世通りは、観光に来ている外国の人がたくさんいて驚きました。美味しそうな物や、欲しいものがたくさんあったので、今度は家族で来たいです。

3年生 ヤゴ救出大作戦～観察

5月29日(水)、「上石神井しぜん探検隊」の方々の御協力のもと、ヤゴ救出大作戦を行いました。

プラスチックのかごを使ってプールの底をさらい、見つけたヤゴを種類ごとに分類して大きな容器に移しました。初めはヤゴを触るのが怖いと感じたり、汚れたプールに入りたくないと感じたりした子供たちも、自分のかごの中でピチピチはねるヤゴを見付けると、嬉しそうな顔を見せてくれました。

しぜん探検隊の方から事前授業で学んだ、「3000個のたまごのうち成虫になるのは1匹」という話も心に残り、自分たちがトンボの命を救わなければと、使命感に燃える子もおり、大変貴重な経験となりました。

救出したヤゴを各学級で6匹ずつ、教室で飼いました。毎日餌をあげて大切に育てたことで、無事に羽化をしてトンボとなり、教室から飛び立っていく姿をみんなで見送りました。

《子供たちの感想から》

- トンボになってとんでいってくれて、とてもうれしい気持ちと、さみしい気持ちがかさなりました。
- ヤゴをおせわして見ていると、かわいくなっていく。
- 今ごろ大きくなったトンボはよろこんでいると思います。
- 12匹の命を救ったのと同じなので、つかまえられてうれしいです。
- 服がびしょびしょでも、みんなのプールのため、ヤゴのために、救い出せたので、全員生き残ってほしいです。
- 最初はぬるぬるしていて、いやだったけど、8匹もとれてうれしかったです。



今後はしぜん探検隊の方に協力していただき、ヤゴのすみかを作る活動を行います。7月13日には、たくさんのトンボが卵を産みに帰って来られるプールにするためには、何をすればよいかを考えるヒントをしぜん探検隊の方々に教えていただきました。9月14日(土)の学校公開時に子供たちがグループになって話し合ってきた「浮島」を、プールに浮かばせる予定です。

9月の生活目標 たくましい体や心をつくろう

夏休みが終わりました。生活のリズムは取り戻せているでしょうか。まだまだ暑い日が続きますが、運動会に向けて練習が始まります。暑さに負けず、進んで運動に取り組もうとするたくましい体と心をつくっていきたいと思います。そのためにも次の点に気を付けましょう。

- ・規則正しい生活をする。
- ・栄養、休養をしっかりとる。
- ・水分補給、汗の始末をする。

こまめに水分をとり、汗の始末をするように引き続き呼びかけていきます。汗ふきタオルをいつも身に付けていられるよう、お願いいたします。元気に過ごせるように、御家庭でも様子を見ていただけたらと思います。